

## 令和5年度 第1回半田市介護保険運営協議会 会議次第

日 時：令和5年5月26日（金）

14時00分～15時30分

場 所：半田市役所 会議室303・304（3階）

### 1 はじめに

### 2 議事

- (1) 令和5年度半田市介護保険運営協議会のスケジュールについて【資料1】
- (2) 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の進捗状況について【資料2】
- (3) 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 成果指標の達成状況について【資料3】
- (4) 各種調査結果について
  - ①高齢者実態調査【資料4】
  - ②在宅介護実態調査【資料5】

### 3 その他

#### 【今後の開催予定】

介護保険運営協議会 本会：（第2回）令和5年10月

地域包括ケアシステム推進部会：（第1回）令和5年7月

地域密着型サービス部会：（第1回）令和5年9月

## 令和4・5年度専門部会の設置

### ◆地域密着型サービス部会（7名）

計画策定時：地域密着型サービスはじめ介護保険事業所の整備についての検討

その他：地域密着型サービスの公募に係る選定など

#### 【部会員】

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| ○ 知多薬剤師会           | 服部 聡  |
| ○ 半田市介護認定審査会       | 土方 靖浩 |
| ○ 半田市民生委員児童委員協議会   | 篠崎 誠  |
| ○ 半田市老人クラブ連合会      | 森 邦弘  |
| ○ 居宅サービス事業者連絡会（在宅） | 大橋 典子 |
| ○ 半田保健所 健康支援課      | 古橋 完美 |
| ○ 市民の代表            | 松井 一夫 |

### ◆地域包括ケアシステム推進部会（11名）

計画策定時：介護保険事業計画の策定に関する検討（施設整備除く）

その他：地域包括ケアシステムの推進に係る施策の評価・検討

#### 【部会員】

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ○ 半田歯科医師会           | 新美 貴弘  |
| ○ 半田市社会福祉協議会        | 加藤 金吉  |
| ○ 半田市介護予防・生活支援協議会   | 加藤 博吏  |
| ○ 認知症の人と家族の会 愛知県支部  | 林 豊    |
| ○ 居宅サービス事業者連絡会（施設）  | 森川 武彦  |
| ○ 半田市居宅介護支援事業所連絡協議会 | 山崎 秀和  |
| ○ 地域訪問看護ステーション協議会   | 原田 三樹子 |
| ○ 半田市シルバー人材センター     | 岩橋 平武  |
| ○ 日本福祉大学            | 伊藤 大介  |
| ○ 市民の代表             | 榊原 かおる |
| ○ 市民の代表             | 江口 澄子  |

令和5年度	令和5年									令和6年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
現状分析、課題整理												
目標事業量算定（各種推計等含む）												
計画書骨子の作成												
計画書素案の作成												
計画書素案の修正												
パブリックコメント												
計画書原稿の作成・校正												
概要版原稿の作成・校正												
介護保険運営協議会			A1					A2			A3	
地域包括ケアシステム推進部会				B1			B2			(B3)		
地域密着型サービス部会							C1			(C2)		
打ち合わせ							随時					

◎協議会の内容

A1・・・年間スケジュール、令和4年度進捗状況の報告、各種調査結果報告

B1・・・8期評価、課題抽出、計画書骨子・・・基本理念、基本目標を含む施策体系を示す

C1・・・介護給付の分析・推計、施設整備案

B2・・・計画書素案・・・主に高齢者保健福祉計画部分

A2・・・計画書素案・・・保険料（案）を含めた全体の素案

パブリックコメント

B3・・・パブコメ後の高齢者保健福祉計画部分最終協議

C2・・・パブコメ後の施設整備・サービス事業量最終協議

A3・・・パブコメ後の修正

記入例

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
記入方法						
①自立支援、介護予防、重度化防止 ②介護給付等費用の適正化 ③サービス利用見込み	「区分」に関する施策を設定した背景や地域課題を記載。地域課題を生み出している要因なども併せて記載。	「現状と課題」に記載した課題等を解決するため、介護保険事業計画に記載した具体的な取組を記載。 ※1つの行に1つの取組を記載。複数取組がある場合は行を追加。	「具体的な取組」の目標を記載。	取組を進めるための具体的な実行内容(年度末実績)を記載。	目標に対する実施内容の達成状況を記載。  数値目標があるものは、達成率(A:80%以上、B:60~79%、C:30~59%、D:29%以下)により自己評価を行う。  達成率が出にくい場合、数値目標を設定していない場合は、「A達成できた、B概ね達成できた、C達成はやや不十分、D全く達成できなかった」の指標により自己評価を行う。	達成できなかった(あるいはできた)要因、今後の対応策等を記載。  取組を進める中で新たに見つかった課題などがあれば併せて記載。
記入例						
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、様々な分野で、地域包括支援センターを中心に、地域ケア会議を戦略的に活用することが必要である。</li> <li>○ 自立支援に資するケアマネジメントを基本に、地域ケア会議を通して地域課題を共有し、資源開発や政策形成につなげていくことが求められている。</li> <li>○ 本市においては、自立支援型地域ケア会議は全ての地域包括支援センターで開催されていない。</li> </ul>	○地域ケア会議の推進	自立支援型地域ケア会議の開催(H29)(H30)(R01) (R02) 開催箇所 1 3 4 5 ※平成32年度までに全ての地域包括支援センターでの開始を目標とする。 ※H30までは実績値、R01以降は目標値	自立支援型地域ケア個別会議の実施箇所数(R02.11月末):3箇所	A	<p>県からの専門職派遣や自立支援型ケアマネジメント研修の開催支援により、会議の立ち上げが順調に進んだ。引き続き、未開催の地区に対し、開催に向けた研修等を行う。</p> <p>今後は、会議立ち上げ後のフォローアップとして、地域ケア個別会議に参加する専門職や事業所のレベルの向上を図る必要があるため、研修を行う必要がある。</p>

半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況について

【基本方針Ⅰ 元気にいきいきと暮らす】

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
(1) 介護予防の推進	<p>【保健事業と介護予防等の一体的実施】</p> <p>令和3年度中に制度設計し、令和4年度からの事業実施につなげる。</p>	<p>医療、健診データ（保健事業）の活用及び住民主体で運営する通いの場（介護予防）への専門職の積極的な関与により、後期高齢者の健康づくりを推進する。</p> <p>○個別支援（ハイリスクアプローチ） 後期高齢者の医療や健診データから抽出した健康状態不明者（健診未受診、医療利用なし、介護利用なし）への訪問を実施する。</p> <p>○通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ） 通いの場等で医療専門職によるフレイル予防等に関する健康教育・健康相談を実施する。</p>	<p>○個別支援（ハイリスクアプローチ） 目標 177名</p> <p>○通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ） 目標 健康教育59回</p>	<p>○個別支援（ハイリスクアプローチ） 把握人数 197名</p> <p>○通いの場等への積極的関与（ポピュレーションアプローチ） 健康教育 71回</p>	A	<p>○令和3年度の健診未受診者のうち、健康状態不明者197人を対象に、健康状態や日常生活状況を個別に把握し、医療・介護など必要な支援につなぐことができた。</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題なし131名(66.5%)</li> <li>・助言 30名(15.2%)</li> <li>・要対応 14名( 7.1%)</li> <li>・応答なし* 22名(11.2%) *安否は確認済</li> </ul> <p>○地域の通いの場等において介護予防・フレイル予防をテーマに保健師、管理栄養士、歯科衛生士が健康教育・健康相談を行った。</p> <p>&lt;参考&gt;</p> <p>令和3年度後期高齢者健診 対象15,493人、 受診者8,399人（受診率54.2%）</p>
(2) 生きがいづくりと社会参加の促進	<p>【通いの場（げんきスポット）活動支援事業】</p>	<p>通いの場（げんきスポット）活動支援に係る補助金交付</p> <p>●令和3年度目標 214団体 実績 200団体</p>	<p>●令和4年度目標 214団体</p>	<p>実績 210団体</p>	—	<p>介護予防活動の質と実績を向上させるため、補助基準を見直す。</p>
	<p>③【通所型サービスB（地域支え合い型）】</p>	<p>通所型サービスBに係る補助金交付（主に要支援の認定を受けた方）</p> <p>●令和3年度実績 43団体</p>	<p>●令和4年度目標 46団体</p>	<p>実績 25団体</p>	—	—

## 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況について

### 【基本方針Ⅱ 年を重ねても安心して暮らす】

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
(1)安心して暮らし続けるための支援	①【配食サービス事業】 外出制限緩和等の影響を受け、前年と比べ利用者数、配食数が減少した。 ●令和3年度実績 年間平均利用者数 84人 延べ配食数 16,838食	・昼食を配達することで、調理が困難で外出ができない高齢者の低栄養を 방지、安否確認を行う。	※目標値は設定しない。 ●前年度比較 年間平均利用者数 -15人 (15%減) 延べ配食数 -2,971食 (15%減)	コロナ禍以前と同様の水準 ●令和4年度実績 年間平均利用者数 76人 延べ配食数 16,618食	-	病状等の回復等により対象者でなくなった利用者がそのまま利用をしていないか確認するため、申請から一定期間経過後に再アセスメントする必要がある。
	②【訪問収集事業】 需要が高く、利用者数が前年度より15%増加している。 ●令和3年度実績 利用者数(年度末) 203人	・自力でゴミステーションまでゴミを排出することが困難で、親族等の協力を得ることができない世帯に、クリーンセンターが訪問収集に伺う。 ・令和4年度から広域組合(半田市、常滑市、武豊町)での実施。	※目標値は設定せず	対象者要件に照らし合わせ適切に要件の可否判断を行い、事業実施できた。 ●令和4年度実績 利用者数(年度末) 248人	-	年々、需要が高まって利用者が増加しており、シルバー人材センター等と連携し、シルバー人材センター等のサービスの利用も検討していく。
(2)住民相互の支え合い	③【生活支援コーディネーターとの地域づくり】 身近な住民同士がちよつとした助け合いや見守り等を行いやすい仕組みづくりが必要である。	介護予防・生活支援協議会の開催 第1層：市全体を統括する協議体 第2層：日常生活圏域(=中学校区)ごとに置かれる協議体	住民、ボランティア、地域の助け合い組織などによって生活支援や介護予防が提供される地域づくりを目指し、生活支援コーディネーターを中心に地域課題、ささえあい活動の推進について協議を行う。	1層、2層の介護予防・生活支援協議会を予定通り開催。 R4年度は、広い世代で参加できるイベントとして、神社やお寺でのマルシェの実施や、ゴミを拾いながらウォーキングするプロギングを開催した。	A	サロンや便利屋さんといったいわゆる「サービス」だけではなく、高齢者を活動的にするものはすべて資源と捉えて、生活支援を進めていく必要がある。
	④【訪問型サービスB(生活支援型)】 ヘルパーによる需要が高く、ボランティアによる生活支援が定着していない。また、研修受講者は個別での訪問の不安から活動を躊躇する傾向にあり活動が広がらない。 ●令和3年度実績 利用者数 24人	ボランティアなどによる掃除、買物、ゴミ出し、傾聴などの簡単な生活支援を行う。 (主に事業対象者、要支援の認定を受けた方)	サポーター、利用者ともに拡充を目指す。	・地域ささえあい活動の枠組みの中で、支える側の人材育成として、ちよいサポ養成講座を開催。 ●サポーター登録者 傾聴部門 23名 ちよいサポ部門 29名 ●令和4年度利用実績 利用延人数 231人	B	サポーターは養成講座により増えつつあるが、利用者については、傾聴部門は伸びているが、ちよいサポ部門の利用が伸びないのが課題。
	⑤【訪問型サービスB(地域支え合い型)】 ボランティアの高齢化、新たな担い手が少なく活動の継続に不安が大きい。 ●令和3年度実績 利用延人数 95人	地域のボランティア団体などが電球交換等のちよつとした困りごとや草刈などの生活支援を行う。 (主に事業対象者、要支援の認定を受けた方)	お助け隊を補完する仕組みを検討し、拡充を目指す。	●令和4年度実績 利用延人数 235人	B	お助け隊で不足する部分を補完できるように、ちよいサポ制度を浸透させていきたい。
(3)地域における見守りと災害時の支援	③【福祉避難所に関する事業】 地震等の大規模災害時に安心して避難生活を送ることができるよう、福祉避難所等の体制整備を図る必要がある。 ●令和3年度実績 協定事業所との意見交換会の実施	・協定を締結している事業所との連携を強化し、体制整備を進める。	●令和4年度目標 ・協定締結事業所との防災訓練の実施	・10月 福祉避難所防災訓練(愛厚半田の里) ・協定事業所との協定内容の見直し	A	防災訓練の実施については、1事業所で実施できた。

## 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況について

### 【基本方針Ⅲ 認知症になってもやさしさの中で暮らす】

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
(1) 認知症に理解の深い地域づくり	<p><b>【認知症サポーター養成講座】</b> 認知症に対する正しい知識を学ぶ認知症サポーター養成講座を実施し、地域の理解促進を図る。</p> <p>●令和2年度実績 受講者数（年度末）1,000人</p> <p>・認知症理解促進を目的とした市民向けの動画を制作し、Youtube等で配信し地域の見守り活動の啓発した。</p>	<p>認知症に関する知識、認知症状を有する人への対方法等について、認知症サポーター養成講座を開催する。</p> <p>●令和3年度実績 講座開催数 10回 受講者数504人（小学校5校含む）</p>	<p>●令和4年度目標 講座開催数 15回 受講者数960人（小学校6校含む）</p>	<p>講座開催数6回 （大人 5回） （小学校 1回）</p> <p>受講者数148人 （大人 116人） （小学生 32人）</p>	C	<p>内容と開催時間の規定がある認知症サポーター養成講座は、実施先が限られた。小学校では認知症の理解を含めた「ふくし共育」と形を変更したため、キッズサポーター養成講座の実施が減った。</p> <p>地域や企業等のニーズを受けて、短時間の認知症理解の講座や、企業の業務に対応した講座など、認知症地域推進員を講師に開催できた。（4回 73人）</p>
(2) 認知症の発症と進行を遅らせる予防の推進	<p><b>【コグニサイズ教室】</b> 脳トレと運動を組み合わせた運動プログラム「コグニサイズ教室」を開催し、介護予防に取り組む市民を増やす。</p> <p><b>【通所型サービスC(認知症特化型)】</b> 認知症の予防及び重症化の防止を図るため、教材による脳トレとレクレーションを組み合わせた教室を開催する。</p> <p>●令和2年度実績 ※新型コロナウイルス対策のため中止。</p>	<p>・コグニサイズ教室の実施</p> <p>●令和3年度実績 開催場所 2か所、開催回数17回、参加延べ人数214人</p> <p>・通所型サービスC(認知症特化型)</p> <p>●令和3年度実績 開催場所 2か所、開催回数38回、参加延べ人数163人</p>	<p>令和4年度より、両教室を統合した新しい通いの場「脳とからだのトレーニング教室」として、市内6会場で開催を目指す。</p> <p>・令和4年度目標 開催場所 6会場 開催回数 144回 参加延べ人数 1,440人</p>	<p>・開催場所 6会場</p> <p>・開催回数 143回 （※雪より1回中止）</p> <p>・参加実数38人/6会場 （亀崎6、乙川7、大矢知5、半田9、成岩6、板山5）</p> <p>・参加延べ人数807人</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響か、いずれの会場も定員に至らなかったが、3年ぶりに予定した6会場すべてが開講できた。</p>
(3) 認知症とともに暮らすまちづくり	<p><b>【認知症本人と家族支援の充実】</b></p>	<p>認知症個人賠償責任保険の導入</p>	<p>令和4年度からの実施 目標 100人</p>	<p>令和4年度 から健康課で実施 76人</p>	B	<p>年度末登録見込みを80名としており、おおむね達成できた。</p>

## 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況について

### 【基本方針Ⅳ 支援が必要となったときの介護サービス】

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
(1) 介護保険サービスの供給体制の整備	【地域密着型サービス・施設サービス等の整備】 「介護人材の確保が困難」「地域密着型特養などの小規模なサービスでは収支が合わず事業着手が困難」などの理由から、第7期計画では施設整備が一部未達成	・介護人材の不足に対応できるような施設の整備計画とし、第8期に計画している地域密着型サービス及び施設系・入所系サービスの整備を行う。	・認知症対応型共同生活介護 定員18（1施設） ・認知症対応型通所介護 定員30（3施設） ・（看護）小規模多機能型居宅介護 定員29（1施設。ただしサテライト型にあっては定員18×2施設） ・地域密着型通所介護 定員18（1施設） ・特別養護老人ホーム 40床 ・特定施設入居者生活介護 60床	公募の実施 ・小規模多機能型居宅介護：1施設 施設整備 その他 ・感染拡大防止のための整備支援等（16事業所で簡易陰圧装置等を導入）	B	認知症対応型通所介護など、整備が進んでいないサービスについて、引き続き事業者の募集等を行う必要がある。
(2) 介護保険制度の普及	【介護保険サービスに関する情報提供】 市報、ホームページ等による広報については、常により分かりやすい記載に努めていく必要がある。	・市ホームページ等による情報提供 ・介護保険等に関する出前講座	※目標値は設定せず	出前講座の実施(8月) テーマ：「介護保険の制度について」	—	—
(3) 介護給付の適正化	①【介護給付適正化事業】 不適切な給付を削減し、介護給付費や介護保険料の増大を抑制するため、今後も継続して実施していく必要がある。	・要介護認定の適正化	・愛知県研修会参加者 48名 ・内部研修実施回数 12回	・48名 ・12回	—	—
		・ケアプランチェック	・ケアプランチェック実施件数 12件(3事業所)	15件(4事業所)	B	目標を上回る4事業所で実施することができた。
		・住宅改修実態調査	・疑義が生じた場合に実施することとしているため、目標は定めない。	実施にいたらず	—	—
		・医療情報との突合・縦覧点検 ・介護給付費通知	・月1回 ・年1回	毎月実施 12月実施	— —	— —
(4) 介護サービス事業所との連携強化	②【地域密着型サービス事業所等への実地指導】 ●令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により、実地指導が未実施となっている。	・地域密着型サービス事業所等への実地指導	・地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所への実地指導の再開 ・総合事業実施事業所への実地指導の開始 ・実地以外の指導方法の検討	実地指導を再開。 (新型コロナウイルスの感染拡大が継続しているものの、1事業所に対し実施)	C	書面による指導を導入したが、書面では確認が難しい点もあるため、感染症対策をしつつ実施できる方策を検討する必要がある。

## 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画 進捗状況について

【基本方針Ⅴ 住み慣れたまちで最期まで】

第8期介護保険事業計画				R4年度実績		
区分	現状と課題	第8期における 具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
(1) 在宅医療と介護の連携推進	<p>①【在宅医療・介護サポートセンター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和2年度実績 相談件数 42件 啓発事業 講演会0回</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス対策のため中止。</p>	<p>医療と介護の両方を必要とする状態となった方が、人生の最期まで自分らしい暮らしを続けることができるよう市民への普及啓発を進めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度実績 相談件数 14件 啓発事業 講演会1回 120人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和4年度目標 相談件数 50件 啓発事業 講座3回 参加延べ人数 150人</li> </ul>	<p>相談件数 38件</p> <p>普及啓発市民講座として3回実施 参加延べ人数49人</p>	B	<p>サポートセンターの周知不足により、相談件数は目標値を下回る結果となった。医療機関への個別訪問など、サポートセンターの機能について周知を図る。</p> <p>市民講座は3回実施。参加人数については目標を大きく下回っているものの、テーマに興味・関心の高い市民の参加が目立った。次年度はより多くの市民への普及を促すテーマとする。</p>
(2) 多職種連携によるチームケアの推進	<p>②【だし丸くんネットの再構築と広域化】</p> <p>令和3年1月に連携情報システムを再構築し、運用を開始。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和2年度(導入前R2.11.30時点) 対象患者数 92人 参加機関数 76機関</li> </ul>	<p>専門職の間の素早い情報共有を可能にし、また、自治体を越えた連携も行うことができる環境を整えたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度実績 対象患者数 122人 参加機関数 100機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●令和4年度目標 対象患者数 135人 参加機関数 110機関</li> </ul>	<p>対象患者数 113人</p> <p>参加機関数 119機関</p>	A	<p>参加機関数は微増しているが、対象患者の新規登録数が少なく、目標値を下回る結果となった。旧システムの医師主導で利用するイメージが残っていること、電話やFAXでのやりとりで困っていないことなどが利用が進まない要因。だし丸くんネットを多職種連携のツールとして活用するためのアンケートや研修会を実施し、利用者と活用範囲の拡大を図る。</p>
(3) 権利擁護に向けた取組	<p>【高齢者虐待防止事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和3年度実績と前年度比較 相談受付数 39件 (+3件) うち虐待認定 27件 (+1件)</li> </ul> <p>「介護支援専門員・介護サービス事業所等職員」からの相談件数が前年度と比べて8件(△50%)増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者虐待防止事業</li> </ul>	<p>※目標値は設定せず</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●相談受付件数 37件 うち虐待認定23件</li> <li>●市民および事業所向けの研修を実施 (7月8日、10月16日、12月1日、12月14日)</li> </ul>	—	<p>家族からの虐待は、養護者が無職であったり精神疾患を抱えているケースが多く、多職種が早期に連携する必要がある。</p>

# 第6章

## 計画の推進・評価体制

### 1 計画の推進

本計画は、市民、地域、介護サービス事業者、保健・医療・福祉の関係機関、半田市包括支援センター、行政機関などが連携・協力して推進します。

それぞれの施策を適切かつ効果的に実施し、必要に応じて随時見直しを行うために「半田市介護保険運営協議会」や「地域包括ケアシステム推進協議会」、市に設置されている「半田市高齢者保健福祉研究会」において、情報の共有や意見交換を行い、計画の進捗状況や実態把握に努め、計画の進行管理を行い、計画の具現化の検証・評価に活かします。

### 2 計画の評価

計画の進行状況の点検や評価を行うため、「半田市介護保険運営協議会」の専門部会として、「介護保険事業計画等評価・推進部会」を設置します。この部会では、第4章に記載した基本方針ごとの施策目標とその取り組みの進捗状況や、第5章に記載した介護保険サービスの見込みなどを点検します。また、各施策が市民のニーズや地域の状況に応じ有効に機能しているかなどを評価し、その結果は半田市介護保険運営協議会へ報告します。

専門部会の評価結果、法改正、社会情勢の変化などによって、本計画の施策の見直しが必要になった場合には、専門部会や半田市介護保険運営協議会にて協議し、内容の修正を図るなど適切な対応を行います。また、半田市介護保険運営協議会の協議の内容は、ホームページ等で公表していきます。

### 3 成果指標

3年後にめざす姿である基本方針は、そのバロメータ（指標）を数値化した「成果指標」及び目標値を設定し、その達成度を評価します。

#### 基本方針Ⅰ 元気にいきいきと暮らす

成果指標の内容	令和元年度現状値	令和4年度目標値
健康状態は良いと思う高齢者の割合	84.5%	85.0%

77.2%

・現状値：令和元年度健康とくらしの調査

## 基本方針Ⅱ 年を重ねても安心して暮らす

成果指標の内容	現状値	令和4年度目標値
今の生活に満足している高齢者の割合	81.3%	85.0%

75.0%

・現状値：令和元年度健康とくらしの調査

## 基本方針Ⅲ 認知症になってもやさしさの中で暮らす

成果指標の内容	現状値	令和4年度目標値
① 認知症に関する相談窓口を知っている人の割合	33.7%	40.0%
② 認知症の人も地域活動に参加した方がよいと思う高齢者の割合	44.6%	49.0%

21.9%

48.9%

・現状値：①② 令和元年度健康とくらしの調査

## 基本方針Ⅳ 支援が必要となったときの介護サービス

成果指標の内容	現状値	令和4年度目標値
① 主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけると答えた割合	72.6%	75.0%
② 日常生活や健康に必要なことは行政や民間のサービスにて提供されていると思う高齢者の割合	33.8%	35.0%

33.6%

・現状値：① 令和元年度在宅介護実態調査 ② 令和元年度健康とくらしの調査

## 基本方針Ⅴ 住み慣れたまちで最期まで

成果指標の内容	現状値	令和4年度目標値
かかりつけ医のいる高齢者の割合	85.1%	88.0%

85.2%

・現状値：令和元年度健康とくらしの調査

## 基本方針Ⅵ 人生のどの段階でも切れ目のない支援

成果指標の内容	現状値	令和7年度目標値
高齢者への福祉施策が充実していると思う高齢者またはその家族の割合	35.5%	45.0%

・現状値：第7期半田市総合計画 基本成果目標現状値（R2基準値）